

祈り 救い と 仏教美術

The Buddhist Art of Japan

2021年
8月27日(金)
10月3日(日)

大和文華館

奈良
学園前

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL(0742)4510544

●休館日/毎週月曜日(ただし9月20日(祝日)は開館し、翌21日(火)が休館) ●開館時間/午前10時~午後5時(入館は午後4時まで) ●入館料/一般630円/高校大学生420円/小学中学生無料※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料※「障がい者手帳」をお持ちの方ご1同伴者1名2割引

特別講演 「大和文華館仏教美術コレクション再考―十五鬼神図巻と日吉曼荼羅―」
東京国立博物館研究員 古川 攝一氏

日曜美術講座 「童子縁の絵画救済される子どもたち」当館学芸部長 泉万里

9月12日(日)午後2時・講堂

講座 美術の窓

9月5日(日)午後2時・講堂

連続講座「広重―風土と旅情を描く―」
第3回「広重三大揃物の二木曾海道六拾九次」当館館長 浅野秀剛

スライドによる展覧会解説 毎週土曜日午後2時・講堂 当館学芸部による

「無料招待デー」9月16日(木)近畿日本鉄道創業記念日

●新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止人数制限をする場合があります。

文殊菩薩像(部分)鎌倉時代

子守神像(部分)南北朝時代



インドで生まれ、中国から日本へ伝来した仏教は、やがてこの地の、緑深い山々や、苔むす巨岩に降臨する神々と融合して、人々の信仰世界を彩り豊かなものにしていきました。本展では、この国の風土に根付き、長い間、人々の祈りを受け止めてきた仏教美術を展示します。仏の姿を繊細な筆致でとらえた絵画や、贅を尽くした装飾経などに加え、仏の姿を刻んだ小さなスタンプを捺して作られた仏教版画も展示します。そして、本展の最後をしめくくるのは江戸時代の仏教美術。大津絵や、歌舞伎芝居の人気演目にもなった、法華経の功德を説く「道成寺縁起」の絵巻など、その庶民的でユーモラスな一面にも光をあてます。

The Buddhist Art of Japan

We will be displaying the Buddhist art of Japan, from the splendid scriptures made by the nobility in the Heian period to the utsu-e art born from the folk beliefs of the Edo period.

展覧会構成

出陳品51件(うち国宝1件、重要文化財6件)

I

仏経東漸 教えを伝える形とことば (図1)

II

仏と神に護られて (図2・3)

III

祖師と高僧のおもかけ

VI

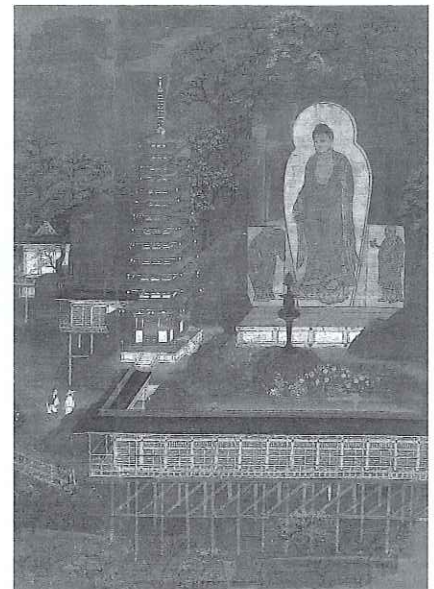
江戸時代の巻の信心 (図4)

V

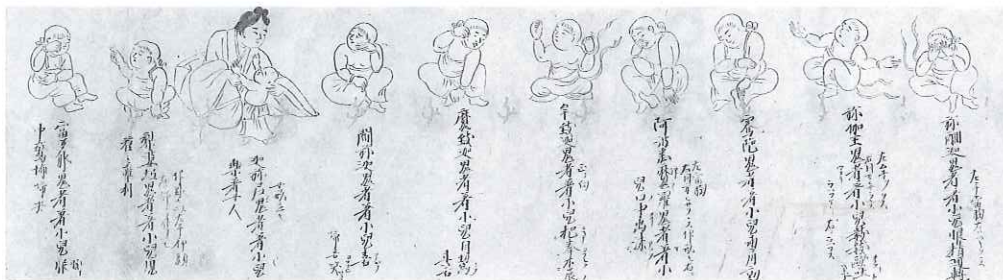
数に祈りをこめて 仏教版画の世界 (図5)



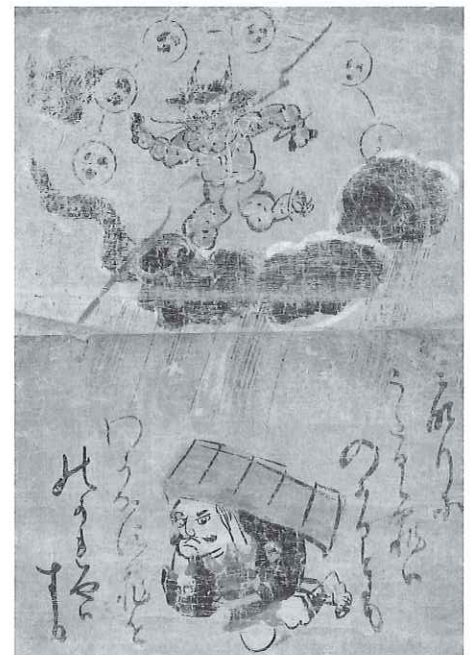
上/【図1】 国宝 一字蓮台法華経(部分) 平安時代
善美を尽くして仕立てられたお経です。これほどの過剰ともいえる装飾は、信仰心なくしては達成できません。



右/【図2】 重要文化財 笠置曼荼羅図 鎌倉時代
巨大な岩盤に彫られたのは、笠置の地に根付いた弥勒如来の姿。南北朝の戦火で失われた石像は、この絵のように立体的な像だったのか、それとも線刻像だったのか。



【図3】 十五鬼神図巻(部分) 鎌倉時代
十五種の病に悩む子を救う「護諸童子経」を絵解く、現存唯一の白描図像です。



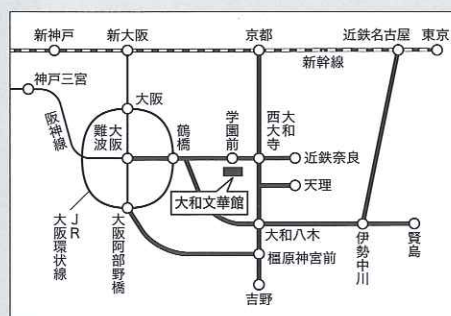
【図4】 雷と奴図 江戸時代中期
江戸の仏教美術は親しみやすさとわかりやすさが特徴です。



【図5】 吉祥天像(浄瑠璃寺吉祥天像納入品) 鎌倉時代
名号やお経を唱えながら、ひとつひとつ捺された印仏です。浄瑠璃寺の吉祥天像内部から発見されたものの一部です。



近鉄・奈良線(学園前駅)下車、南出口より徒歩約7分、無料駐車場あり



大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6
TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929

大和文華館 検索 @yamatobunkakan